

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	可児市下水道整備計画												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和06年度 (4年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	可児市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	44	A	44	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	久々利地区流域関連公共下水道管渠整備率を0.0%(R3)から100.0%(R6)に増加させる。 久々利地区流域関連公共下水道管渠整備率 久々利地区流域関連公共下水道整備済面積(ha) / 久々利地区流域関連公共下水道整備面積(ha)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(汚水)	新設	久々利汚水幹線整備事業	200 L=1.0km 他	可児市						44		-
											小計						44		
											合計						44		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 可児市水道部内において	事後評価の実施時期 令和8年2月
	公表の方法 ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道管渠を全体計画1,001.2mのうち988.9m整備した。本計画の定量的指標は下水処理場を有する特定環境保全公共下水道区域を公共下水道へ接続した整備済面積であり、下水処理場敷地内を経由することにより全面積35.82haを公共下水道へ接続可能とすることができた。この結果、下水処理場を廃止し、管渠のみの維持管理となり、ライフスタイルコストの削減につながった。この広域化により市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりに寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
市道内における未着手延長分の工事を行う。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	可見市下水道整備計画	交付対象	可見市
計画の期間	令和3年度 ~ 令和6年度 (4年間)		

整備予定箇所図 (汚水)
— A07-001

